

9 正月飾りで知る伝統



デンタル小町が通る

七沢久子 ⑨

山梨県歯科衛生専門学校校長



新しい年が始まりました。今年も、感謝と笑顔を忘れず、日々心新たに過ごしていきたいです。さて、皆さまはどのような年末年始を過ごされましたか。

わが家の年末の恒例行事は

お伊勢参りです。仕事納めをし、家族や親しい人たちと伊勢に向かって出発します。1年間無事に過ごせたことに感謝し、外宮、内宮の正式参拝をさせていただいています。

宇治橋を渡り、伊勢神宮の静寂で身の引き締まる玉垣の

正月飾りで知る伝統

中に入り、古式ゆかしく二礼

二拍手一礼をします。凜とした

空気がとても心地よく、身

も心も清められるのを感じま

す。そして帰宅後、家のお台

所、トイレの周りを清め、輪飾

りをしつらえ、正月の準備を

始めます。

正月のお祭りは、元日から

三が日に自宅で行います。

お三宝にウラジロを敷き、

鏡餅を供えます。お餅の上に

昆布、ゆずり葉、橙をのせ、か

やの実、勝栗、田作りを添え、

「夫婦仲睦まじく」のたとえ

で、竹ぐしの両端に干し柿を

2個ずつ(夫婦)、中六つ(仲睦

まじく)を前に飾ります。

餅は「百(も)の道(ち)長寿」

を、橙はそれを「先祖代々」、ゆ

ずり葉は「譲り」、昆布は喜ぶ

ことを表しているそうです。

一つひとつの品に意味を充

て伝えていることが分かりま

す。そして、鯛、海藻や「あま

な、からな」と呼ばれるにんじ

ん、大根と季節の野菜、果物などを供えます。お雑煮は、わが家では丸餅です。大根、にんじん、八つがしらに、田作りをのせ、三つ葉をあしらった塩味で食します。

温暖化が進んで季節感が薄れ、IT化の波が日々の暮らしを変化させています。この

ような時代だからこそ、正月のお飾りやおせち料理を通して、日本の伝統行事を継承し

ていくことが必要なのではないでしょうか。

三が日の行事は、大切な事

始め。健康で社会貢献できる

ことのありがたさを確認し、

自分の心を見つめ直す時間だ

と考えています。